

## 平成27年度「第1回岩倉市議会ふれあいトーク(意見交換会)」記録書

開催日時:平成27年8月18日(火)14:30～16:30

場 所:市民プラザ ホール

来場者数:44人(市民活動団体28人、行政区3人、市民活動支援センター3人、インターン関係者6人、市職員2人、議会事務局2人)

配布資料:市議会だより(No. 201)、議員紹介一覧(議会だよりNo. 200より)、アンケート

出席議員:全員(15人)

次第:

1開会の言葉(木村議員)14:30～

2議長あいさつ(宮川議長)

3市民活動支援センターあいさつ(安江事務局長)

4自己紹介 参加者全員 14:35～

5意見交換「市民活動について、活性化のために」 15:08～

6閉会の言葉(黒川副議長)16:02～

7フリータイム 16:05～

参加団体:

岩倉五条川桜並木保存会(長谷川)、岩倉市要約筆記サークルさくら(田中・得能)、文学から日本近代史を学ぶ会(鏡山)、年金勉強会サークル(柴原)、食と健康実践研究会(五十嵐)、愛知県尾北断酒会岩倉市部(長谷川)、オクトパス合唱団(加藤・下村)、おこまま(林・安本)、いわくら認知症ケアアドバイザー会(尾関)、NPO法人イキイキライフの会(平田、小森、鬼頭)、岩倉鳴子踊りの会五条川桜(山田)、岩倉市山車保存会(小島)、熟年者さわやかセミナー企画委員会(小林)、岩倉9条の会(猪飼)、岩倉生涯学習市民の会(倉知)、岩倉猫の会(水野・重信)、中国気功クラブ(酒井)、認知症しらせたい(小島)、新婦人の会ムギ班[絵手紙サークル](稲葉)、ストーリーテリング岩倉(柳川)、やんちゃね☆(伊藤)、西市婦人会(櫻井) 本町北口区[区長会長](梅村)、新柳1区(中井)、曾野町区(田中)

市民活動支援センター(安江・山口・岡本)

市協働推進課(竹井・宇佐美)

NOP法人ドットジェーピー(木村・光部) インターン生(石黒・野沢・富田・吉川)

市議会事務局(尾関・田島)

意見交換記録内容:

項 目	参加者の質問及び意見	議会の応答及び意見
市民活動活性化について	<p>①市民活動の活性化について議員はどう考えるか？ (議員はどういったことをしたら活性化すると考えるか？)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体が、興味をもったことに没頭すること。</li> <li>・団体の会員が固定化されずオープンであること。</li> <li>・団体の情報を発信していくこと</li> <li>・団体間のネットワークをつくること</li> <li>・支援センターが取り組んでいるがその役割は大きい</li> <li>・各団体、悩みや、問題点があればどんどん出していくこと</li> <li>・市民活動助成金制度や支援センター運営委託金が適正であるか、活動情報を掴みながらしっかりと審査していくこと。</li> <li>・市民講師制度をつくる等、様々な性格をを持つ団体間の連携をとり、活かすこと。</li> <li>・「活発」とは団体によって違う。団体の課題を一緒に話し合い、区や他の団体との連携を取りながら市全体でサポートできるとよい。</li> </ul>
会場予約について	<p>②大きな催しほど早く企画を立てたいが、現在会場予約は3か月前しかできない。改善できないものか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育協会では1年前に枠の予約をしている。</li> <li>・生涯学習センターは、市が先に会場を押さえてしまうので困る。</li> <li>・他市町では6か月前の所もある。3か月前では講師のブッキングができない。</li> <li>・会場予約について条例で決まっているなら、議会から提案してほしい。</li> <li>・会場が確保できないとプランが立てられず、助成金申請や市の後援にも支障がでてくる。公平な方法を考えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共性のある事業については、行政とタイアップしていくことで仮予約ができるのではないかと。</li> <li>・市民参加条例の協働の観点からもより有効的な方法を考えていきたい</li> <li>・体協や社会教育団体など優先的に予約できるのは「裏ワザ」であり、団体登録していない人や小さな団体にとっては不公平。ルールに基づいて行っていくべき。施設ごとにルールも違う。</li> <li>・ある程度のルールは必要。計画的に市民活動ができるよう議会でしっかり議論してルール作りを考えていきたい。</li> </ul>

<p>駅周辺の整備・有効利用</p>	<p>③岩倉の山車があと9年で400年を迎える。桜通線の用地買収は、積極的に取り組んでほしい。早く整備して、駅前をメイン会場としたイベントを行いたい。有効利用したいがどうか</p>	<p>•これまでもそのような意見あった。軽トラ市の開催なども検討されているようだ。駅前中心地が使える方向で考えていきたい。</p>
<p>ごみ問題・マナー低下</p>	<p>④ゴミの出し方マナーの低下(分別しない、網からはみ出す、何でも出す、不法投棄等)で迷惑している。うじ虫で悪臭あった。景観が悪くなっていく。区としても対応に困っている。直接注意もしにくい。回覧は効果がない。どうしたらよいか？</p> <p>・清掃事務所で立看板を立て改善された部分もあるが・・・</p>	<p>•集積場はゴミを出す人が管理するのが基本だが、地道に看板たてる、回覧をまわすといった対応になる。清掃事務所はノウハウをもっているので相談してほしい。行政と共に考え解決策を模索していきたいが、行政側から上手に指導していくことも必要である。</p>
<p>生活排水路問題</p>	<p>⑤生活排水路における悪臭で困っている。どうしたらよいか？</p> <p>・小さい所は、蓋をするか暗渠にしてほしい。</p> <p>・大きい所は、絶えず水を流してほしい。(魚がいるところもある)</p> <p>・市民の知恵でも解決できることもある。(カラス対策として網を洗濯ばさみで固定)モラルは区でまず話し合う。その答えに対して行政は対応する。議会はその内容についてアイデアを出してほしい。協働の進め方に反映してほしい。</p>	<p>•用水に水が入る頃は、五条川から引くので魚が入る。</p> <p>•水を止める時期には、水辺を守る会と協力して魚を救出したこともあるがそういったことも必要であると思う。</p> <p>•側溝は勾配が不足すると水が溜まってしまう。蓋の下は、ヘドロやゴミがたまりやすい。15年ほど前までは消毒液散布をおこなっていたが、環境汚染の問題があり止めた。どうしても必要性があれば、現在でも清掃事務所で配布している。行政と現場で対応することが望ましいが、地域の議員にも話をしてもらえればと思う。</p>
<p>まちづくり・協働・ビジョン</p>	<p>⑥まちづくりに対して、議会の方向性や事業効果を発信していくことが良いと思うが、そのような効果についてなにかあれば聞かせてほしい。</p> <p>・先日行われた川北氏の講演会がよかった。「協働に制限はなく、行政のことは市民と一緒にできることばかり」との内容であった。</p>	

	<p>⑦指定管理など委託を受けるNPO団体の強化が必要。現状は、同じような形態の施設でもそれぞれ受託者が違うが、一つの団体が受けて方針を持って協働で運営していくことを考えてはどうか？（寄付集めや補助金もらうにしても運営資金の面で弱い）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予約についても、どこかに委託をしていっては、市民本位で考えること。</li> </ul> <p>⑧ビジョンについては、議員は選挙で掲げた事項がある。その夢をまとめていくことで市民も動く。そして政策提案に反映していってほしい。政策提案になって、予算がつくかどうか、どう配分するかといった流れだと思うがどうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば、「市民が教え、市民が学ぶ」ということは行っているが、立ち消えにもなる。この流れに沿って一つ一つ行政が育てていくことが大切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議員ごとに得意分野やネットワークを持っているが、バブルと違い、限られた予算を配分する上でも、議員個々に行うよりも議会全体としても行おうとしている。「議会はどう取りまとめるか」「何が優先なのか」「どうやるべきか」の意見を持って臨む姿勢でいる。</li> <li>・現在、2つの委員会それぞれの分野で政策提言をしていこうと意見を出し合っている。方向性をだしていくためにもたくさんの意見を出していこうとしている。市民も議会を監視してご指摘いただきたい。</li> <li>・まちづくり＝全ての人が必要にされ、活気がある、障害を持つ人が出ていけるまちに。市民活動を通して、それぞれの持ち分で元気になることが大事だと思う。</li> </ul>
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと議会傍聴に行きましょう。議論の内容役に立つ。</li> <li>・行政にお願いをして解決する時代ではなくなった。協働、自助・共助・公助が大切。</li> <li>・自分たちが快適な生活をするために問題解決にもっと頭を使おう。</li> <li>・このままでは北名古屋市に負けてしまうと危機感を持っている。岩倉はどうやって生きていくのか。我々も執行機関と共に考えていかなければいけない。自身の力をつけていきましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の意見交換会を機会に9月議会にも反映できるとよい。</li> <li>・次回は11月頃に議会報告会を開催したい。</li> </ul>